

令和7年度第1回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録

開催日	令和7年4月23日(水)	時間	13時45分 ～14時15分	場所	市立伊丹病院 講堂2
出席者	委員：吉村委員長(伊丹市医師会会長)、中村副委員長(伊丹市歯科医師会会長)、代理 鈴木委員(尼崎市医師会副会長)、千葉委員(伊丹市薬剤師会会長)、須藤委員(兵庫県伊丹健康福祉事務所長)、米澤委員(伊丹市消防局長)、松尾委員(伊丹市健康福祉部長)、松本委員(川西市健康医療部長)、佐伯委員(宝塚市健康福祉部長)、中田委員(伊丹市病院事業管理者)、中井委員(市立伊丹病院病院長)、中村委員(市立伊丹病院地域医療連携室主任部長)、伊東委員(市立伊丹病院地域医療連携室部長)、竹原委員(市立伊丹病院看護部長)、藤本委員(市立伊丹病院事務局長) 委任状：木村委員(三田市医師会会長)、織田委員(川西市医師会会長)、奥原委員(三田市総合政策部地域医療推進担当部長)、細田委員(学識経験者) オブザーバー：濱口(副院長)、森田(副院長)、下山(診療部長)、井上(診療部長)、指原(小児科主任部長)、萩原(放射線診断科主任部長)、渡辺(医療技術室長)、加藤(医事課長)、丸(総務課長) 欠席：明渡委員(宝塚市医師会会長)				
議題 内容	■ 開会のごあいさつ 本日は、年度替わりのお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。地域医療支援病院として、地域医療に関する状況をご説明いただきます。新しい委員の方も加わりましたので、引き続きご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。 ■ 委員の紹介 席次順に委員を紹介し、出席者が委員の過半数を超えているので本会は成立することを報告した。 ■ 任期満了に伴う委員長および副委員長の互選について 「伊丹市病院事業の設置等に関する条例第3条の2」に従い、委員任期の更新と地域医療支援委員会委員長、副委員長を互選し、特に立候補等意見なく、引き続き委員長に伊丹市医師会会長 吉村 史郎 様、副委員長に中村 義盛 様に依頼し承諾された。 ■ 議事の紹介 ・会議録の記載事項について 1.開催の日時および場所 2.出席した委員、臨時委員、専門医委員および関係人の氏名 3.議題およびその内容 4.議題の要旨 5.議決事項 6.その他委員長が必要と認める事項 ・本委員会は「公開等および傍聴についての要綱」第2条ならびに第3条により公開であるが、傍聴希望者はなかった。 ・本委員会は議事録作成のため録音している。 ・討議の中での発言内容、発言者の氏名は記載しない。 ・「公開等および傍聴についての要綱」第18条により 会議録は市立伊丹病院ホームページにて公開する。 ■ 議事署名人の指名について(2名) ・吉村委員長より中村副委員長および米澤委員が指名され、両名とも承諾された。 ■ 議事 1) 紹介患者に対する医療提供について - 資料1-① ～ 1-⑤ に従って説明 - 資料1-① 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率				

・令和6年度地域医療支援病院紹介率は91.1% 逆紹介率は120.6%で承認要件を充たしている。

資料1-② 紹介患者紹介項目内訳

・令和6年度は診察依頼と検査依頼を含め20,746件で前年度と比較して1,213件増加している。

資料1-③ 令和6年度科別紹介患者入院率

・総入院患者数の41.2%が紹介を受けた患者で前年度と比較して約2.6%減少している。

資料1-④ 令和6年度患者住所地別紹介患者数

・地域医療連携室経由の紹介患者は伊丹市が76.9%で前年度と比較して約0.6%減少している。

資料1-⑤ 令和6年度地域医療連携室利用割合

・地域医療連携室の利用割合は88%で前年度と割合は変わらず。

2) 救急医療の提供について

資料2-①、資料2-②に従って説明

資料2-① 救急外来患者数調書

・令和6年度救急外来患者数は、8,459件で前年度と比較して1,098件増加している。入院化率は前年度より0.7%増加している。

資料2-② 救急搬送の応需困難状況

・令和6年度お断り率は18.7%で前年度と比較して11.2%減少している。

3) 地域の医療従事者に対する研修について

資料3に従って説明

・令和6年度地域医療従事者対象研修会開催一覧

研修会はウェブ研修を含めて24件開催し、院外より536名の参加があった。承認要件の12回を満たすことができた。

4) 開放病床の運用実績について

資料4に従って説明

・開放病床の平均利用率は3.6%で問題なく運用できている。

5) その他

・特になし

質疑応答

資料2-② 救急搬送の応需困難状況

質問: 応需困難件数が大幅に改善されていますが、何か対応された結果でしょうか。

回答: 救急外来の初療室の改造や、診療看護師、救急救命士の増員等による効率化、また、コロナ感染が落ち着いてきたことにより受け入れが改善された点等が、お断り件数の減少に繋がったと考えられる。

質問: コロナ感染症のための病床は、現在どうようになっているのでしょうか。

回答: 現在、コロナ専門病床は廃止している。各病棟で病床をゾーニングして対応している。

質問: 近畿中央病院との統合にむけて、今後の救急受け入れ体制についてはいかがでしょうか。

回答: まずは、断らない体制を構築しようと医局会で話をした。特に、整形外科においては、地域医療機関からの患者に関しては、積極的に受けるよう通達し、救急専用の内線を新設、緊急依頼に対し待たせず対応できるよう体制を整えた。2024年度は入院から24時間以内の緊急手術にも力をいれ、年間400件以上実施した。また、この4月からは、診療部長下山を筆頭にRRTチームを立ち上げ、5月から急性期充実体制加算も算定できるようにしている。引き続き、救急医療には注力していく。

資料3 地域医療従事者対象研修会開催一覧

質問: 院外の参加者は、近隣の自治体の病院の方も入っているのでしょうか

回答: 対象が、当院に登録されている地域医療連携登録医ならびに地域医療機関で医療に従事されている看護師、コメディカルの方であり、その方々を中心に参加いただいている。

■ 閉会のごあいさつ

本日はお忙しい中にも関わらず令和7年度第1回市立伊丹病院地域医療支援委員会にご参加くださりありがとうございます。伊丹市医師会会長吉村史郎先生、委員の皆様にはいつも当院が大変お世話になっており、心から感謝申し上げます。

私はこの4月から病院長に就任致しました中井 毅でございます。あらためまして地域の医療関係者の皆さまには日頃より市立伊丹病院にご支援とご協力を賜り深甚なる感謝と御礼申し上げます。当院は約3年後に近畿中央病院との統合を予定し、602床の高度急性期病院の開設に向けて整備工事を進めております。そのような背景の中で、病院長を拝命し、その任務の重さをひしひしと感じ身の引き締まる思いでございます。

伊丹市は『地域に必要とされる医療をより身近により安全に』届けたいとの想いで統合新病院整備事業を進めており、市立伊丹病院は市民の皆さまに住み慣れた地域で安心して必要とされる医療を受診して頂けるよう、三次救急機能を有する高度急性期病院として生まれ変わります。

現在当院は「安全で良質な信頼される医療を提供する事により、地域医療の発展に貢献する」という理念のもと地域医療支援・がん診療・急性期医療を中心に地域住民の皆さまに医療を提供しております。患者さまに安心して医療を受けていただけるよう、診療科間の連携を密にとり全職員が一丸となってチーム医療に尽力する所存です。今後も種々の職種によるチーム医療をレベルアップし、医療の質の向上と患者さま満足度 No.1 を目指すべく、職員一同さらなる研鑽と努力を積み重ねる決意です。

若手医師の教育は当院のみならず医療界の将来にとりましても重要な課題であります。昨年度に NPO 法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）を受審し、機構から認定を受けました。若手医師の教育には地域の方のご理解とご協力が不可欠でありますのであたたかいご支援とご助言をお願い申し上げます。

地域住民の皆さまの信頼と期待に応えるべく、職員一同全力を挙げて病院運営に努めてまいりますので、地域医療支援委員会の皆さまにおかれましては引き続き、ご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

本日は市立伊丹病院地域医療支援委員会にご参加いただき誠にありがとうございました。

■ 謝辞

お忙しい中、地域医療支援委員の皆様には、「令和7年度第1回市立伊丹病院地域医療支援委員会」にご出席頂きありがとうございます。吉村史郎先生を始め、委員の皆様にはいつも当院の診療についても大変お世話になっておりますことにお礼申し上げます。また、本日の本委員会がお陰様で無事に終了できましたことに感謝申しあげます。

私からは統合新病院の経緯と現状についてお話しさせていただきます。社会的および経済的な影響から落札が1年遅れとなり、2023年5月中旬から工事を開始し、現在は新しく東棟、職員宿舎・保育所棟、立体駐車場の整備が終了しています。すでに昨年、医局が職員宿舎・保育所棟に、外来診察部門と検査部門が東棟に移転しました。そして昨年8月5日からは東棟で外来診療を開始しています。一時的な外来でするので、患者動線や面積的な制約があり、何かと機能的に十分でないところがあると思います。そのためご迷惑をおかけしますが、ご理解とご寛容のほど宜しくお願い申しあげます。

統合新病院の竣工は2026年8月を目指していましたが、残念ながら西棟建築区域の土壌汚染が当初の予定量を越え、土壌汚染対策法に基づき対応する必要から大成建設から1年5カ月の工期延期が必要と言われ、竣工時期は2027(R9)年度の後半に延期されてしまいました。

最初の計画より2年5カ月延期の統合新病院の竣工予定は、両病院にとって大変厳しい状況ですが、統合新病院に向かって力を合わせて協力しながらこれまで通り着実に進めていきたいと考えています。関係者の皆様のご協力とご理解を宜しくお願い申しあげます。

本日は本地域医療支援委員会にご参加いただきありがとうございました。

別紙のとおり「令和7年度第1回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として作成する。

作成者

令和

7年5月20日

吉村史郎

別紙のとおり「令和7年度第1回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として確認する。

議事録署名人

令和

7年5月20日

中村義盛

議事録署名人

令和

7年5月23日

米澤嘉人